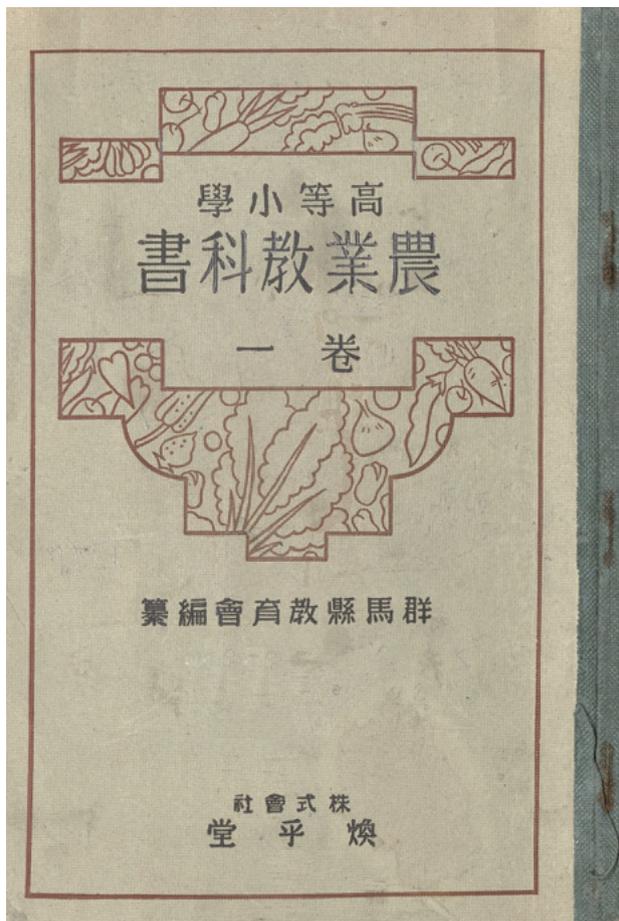


高等小学 農業教科書 卷一

復刊版



群馬地域文化振興会

學小等高
書科教業農
一 卷



纂編會育教縣馬群

凡 例

一、本書は、本縣内高等小學校兒童用農業教科書に充てんが爲編纂したるものにして、從來の新編農業教科書を時代の進運に即するやう、内容形式全般に亘り改訂を加へたるものなり。

二、本書を別ちて二卷となし、高等小學校第一學年と第二學年とに各一冊宛を配當せり。

三、本書の内容は、小學校令施行規則に規定せる農業科時間數に據り、毎週教授時數六時間の中四時間を教授時間とし二時間を實習に充つる豫定にて編纂せり。

四、本書記載の教材は、努めて群馬縣の農業に適切なるものを選擇したり。

五、本書の教材排列は、實習・實驗に便せんがため、概ね季節の順序により、且兒童の心力を顧慮し、尙他教科目との聯絡を失はざらんことにつとめたり。

六、本書を教授するに當りては、文部省編纂小學農業教科書教師用書を便宜參考せらるべし。

昭和十二年三月

群馬縣教育

小高等 農業教科書 卷一 目次

第一課	農業	一
第二課	作物	二
第三課	種子	四
第四課	播種	六
第五課	稻	八
第六課	苗代	一一
第七課	整地	一三
第八課	果菜類	一四
第九課	胡瓜と南瓜	一五
第十課	茄と蕃茄	一七
第十一課	西瓜	一九
第十二課	肥料と成分	二二
第十三課	施肥	二三
第十四課	田植	二三
第十五課	稻田の灌漑	二五
第十六課	雑草の害	二六

第十七課	田の草取	二七
第十八課	旱魃の害	二九
第十九課	害虫(一)	三〇
第二十課	害虫(二)	三三
第二十一課	害虫の防除	三五
第二十二課	益蟲及び益鳥	三五
第二十三課	驅蟲劑	三八
第二十四課	葉菜類	四〇
第二十五課	白菜と甘藍	四一
第二十六課	葱と葱頭	四三
第二十七課	根菜類	四五
第二十八課	大根	四六
第二十九課	甘藷・馬鈴薯・里芋	四七
第三十課	荳菽類	五〇
第三十一課	品種の改良	五三
第三十二課	牛蒡と胡蘿蔔	五五

第三十三課	土壤	……………	七〇
第三十四課	土壤の生成	……………	七〇
第三十五課	土層と其の改良	……………	六〇
第三十六課	農具	……………	六一
第三十七課	麥類	……………	六四
第三十八課	麥の播種	……………	六六
第三十九課	稻の收穫及び調製	……………	六八
第四十課	生産物の検査	……………	七〇
第四十一課	收穫物の貯藏	……………	七一
第四十二課	收穫物の賣却	……………	七三
第四十三課	收支計算	……………	七四
第四十四課	森林	……………	七五
第四十五課	森林の效用(一)	……………	七九
第四十六課	森林の效用(二)	……………	八一
第四十七課	樹苗の養成	……………	八二
第四十八課	植樹と其の手入	……………	八四
第四十九課	除伐及び間伐	……………	八五
第五十課	麥の手入	……………	八六
第五十一課	果樹	……………	八六

第五十二課	果樹の繁殖	……………	八九
第五十三課	剪定及び整枝	……………	九一
第五十四課	梅	……………	九三
第五十五課	梨	……………	九五
第五十六課	柿	……………	九七
第五十七課	蠶種	……………	九九
第五十八課	蠶種の保護	……………	一〇〇
第五十九課	桑	……………	一〇二
第六十課	桑の栽培(一)	……………	一〇四
第六十一課	桑の栽培(二)	……………	一〇七
第六十二課	苗床	……………	一〇
附 録	年中行事の重要な事項	……………	一一三

目次終

高等
小學
農業教科書 卷一 (改訂版)

群馬縣教育會編纂

第一課 農業

農業

圖解

船津傳次平氏は
勢多郡富士見の
人、近世日本三
老農の一人であ
る。

農業の生産物

土地を使用して、稻・麥・桑・豆・大根などを作り、蠶・牛・馬・豚・鶏等を飼ひ、また



船津傳次平

樹木を仕立てるなど、人の衣食住に必要なるものを産出する仕事を農業といふ。

農業の産物中で、米・麥・豆等の穀類及び豚・牛・鶏類は食用となり、繭・綿・麻の類は衣服の原料となり、松・杉・扁柏等の材は

農は百工の母

農は國の基

農業者の覺悟

作物

家を造るに使はれる。

かやうに、農業は衣食住の原料を作り出す職業であるから、農業がなければ我等は一日も生活することが出来ず、また他の職業の基礎をなすもので、最も大切な業である。

農業に従事するものは、最も堅實な精神に富み、概ね身體強健で長命する者が多く、且其の業は趣味多く失敗の虞が少い。殊に我が國は古來瑞穂の國といはれ、農を以て立國の基として居る上に、皇室におかせられても、御歴代農業を御奨励あらせられる。されば、我等は喜び勇んでこの業に従ひ、家を豊にし國を富ますことを努めなければならぬ。

第二課 作物

農家の栽培する稻・麥・豆・大根・馬鈴薯・大麻・桑・桃其の他牧草などを、すべ

作物の性質

て作物といふ。

作物は野生植物を人為によつて改良したもので、人の需める部分が殊によく發育してゐる。故に作物は一種の畸形であつて、其の性質

は概して弱い。

- 圖解
- 一、野生豌豆
 - 二、豌豆
 - 三、糸のころ草
 - 四、粟



自然植物と作物との比較

作物はよく選種し、また栽培を丁寧にして充分に保護せねばならぬ。保護を怠れば、發育が不良であるばかりでなく、其の特性も退化する虞がある。

作物の品種もまた人為によつて改良・育成し、或は維持せられるものである。農家は採種を嚴重にして其の特性を維持し、また之を改良せねばならぬ。

作物には種類が多くあるけれども、其の

作物の改良

性質用途等によつて分類すれば次の通りである。

一、穀菽類

- 禾穀類 稻・麥・粟・玉蜀黍等
- 菽穀類 大豆・小豆・豌豆・蠶豆等

- 葉菜類 漬菜・甘藍・葱等

二、蔬菜類

- 根菜類 大根・胡蘿蔔・牛蒡・甘藷・馬鈴薯等
- 果菜類 南瓜・西瓜・胡瓜・茄・蕃茄等

三、果樹類

- 梨・梅・桃・栗・柿・葡萄・蜜柑・苹果等

四、飼料類

- 桑・燕麥・牧草等

五、工藝作物

- 蒟蒻・茶種・大麻・棉・楮・煙草・茶等

作物の種類

特用作物は工業上の原料に供せられるものであるから工業作物ともいふ。

第三課 種子

選種の必要

作物の多くは種子によつて繁殖するもので、善良な種子から生じた作物は、成長もよく、收量も亦多いのであるから、種子の選擇は最も大切である。

善良な種子

種子は系統正しく、概ね新しいものがよい。また同種中では、大きく